

作成：岩崎純一

寄「匂色」共感覚歌合（におういろによせるきょうかんかくうたあわせ）

平成二十三年（2011）五月十五日に催された。

■歌題

「匂色」の心。すなはち、いろをにほひて詠むべし。

■作者

袴ちの子

岩崎純一（[作者サイト](#)）

■歌

袴ちの子

花の色の心にほひて来る春に風薫るのちのわびしさを聞く

（心も桜の色に匂うかのようにやって来る春に、夏の風が吹き始めたあとの葉桜のわびしさを思う。）

岩崎純一

散りわびぬうつろふ花の残る色にほふ袂の面影の果て

（散りそうで散らない、いいえ、やがて必ず移ろっていく桜の、それでもやはり少しは残る色に匂う袂の着物を着ていた人の面影との、別れの果て。）